

令和8年度第2学期 新潟大学市民開放授業

受講生募集要項

新潟大学では、本学の教育・研究を広く地域社会に開放するため、様々な活動を行っています。その一環として、本学学生向け正規授業の一部を開放し、地域住民の皆様に受講していただくための「新潟大学市民開放授業」を平成14年度から実施しています。受講を希望される方は、次の要項によりご応募くださるようご案内いたします。

1 実施形態

(1) 新潟大学クォーター制

新潟大学は平成29年度から「クォーター制」を導入しています。

クォーター制とは、ひとつの年度を二分した第1学期・第2学期をさらに半分に分けた「クォーター」ごとに授業を行う制度です。

新潟大学ではこのクォーターのことを「ターム」と呼び、「1学期2ターム制」となります。

学期	ターム	授業期間
第1学期	第1ターム	4月 8日 ～ 6月 8日
	第2ターム	6月 10日 ～ 8月 5日
第2学期	第3ターム	10月 2日 ～ 12月 1日
	第4ターム	12月 3日 ～ 2月 12日

(2) 授業の開講形態

科目の特性や学修効果にあわせて①～⑤のパターンで授業を開講します。

どの授業形態で実施されるかは、8～14 ページの「市民開放授業実施科目一覧」で確認してください。

① 週2コマ×8週（曜日セット開講）

月曜日和木曜日、火曜日和金曜日など、授業と授業の間に期間を開けて、週2回授業を行うもの。

② 週2コマ×8週（2コマ連続開講）

1・2限連続や3・4限連続など、2つの授業時間をつなげて授業を行うもの。

③ 週1コマ×8週

授業期間が従来の半分となることにともない、1科目当たりの単位数も半分になります。このため、多くの科目は二分割された前半部分と後半部分の両方を複数タームにわたって履修することが基本となります。

④ 週1コマ×16週（2ターム連続開講）

従来どおりの学期単位16週で授業を行うもの。

⑤ その他

上記以外のパターンで開講されるもの

(3) 授業の受講形態

① 対面授業

② リアルタイム型オンライン講義 会議システム (Zoom) による非対面授業

受講には、インターネットに接続できるパソコン、タブレット、スマートフォン等をご用意ください。また、オンライン配信にかかる通信料は自己負担となります。十分な通信環境がない場合、高額な通信料がかかる可能性がありますので、受講には Wi-Fi などの十分な通信環境が必要です。

[オンライン講義の配信方法]

オンライン会議システム【Zoom】(ズーム)を利用したリアルタイム配信

- ・当日実施している授業をリアルタイム(同時)に受講します。
- ・受講には、Zoom アプリケーションのインストールや操作が必要です(詳細は【Zoom ビデオコミュニケーションズ社】のウェブサイトをご参照ください)。また、音声通話による質問をご希望の場合は、マイク等を備えた機器が必要です。

また、オンライン授業に出席するための授業の情報(URL、パスワード)を受け取るために、新潟大学学務情報システムを使用・操作していただきます。

2 開講期間及び授業時間等

(1) 開講期間(授業実施日は、15 ページの「令和8年度新潟大学授業暦」をご覧ください。)

- 第3ターム実施科目 令和8年10月2日(金)～令和8年12月1日(火)まで
- 第4ターム実施科目 令和8年12月3日(木)～令和9年2月12日(金)まで
- 第3・第4ターム連続実施科目 令和8年10月2日(金)～令和9年2月12日(金)まで

- ・各曜日の授業回数を確保するため、10月13日(火)、1月14日(木)、22日(金)は月曜授業、11月6日(金)は火曜日授業を行いますのでご注意ください。
- ・12月2日(水)は補講日のため通常授業は行いません。授業担当教員の指示に従ってください。

(2) 授業時間

時限	1	2	3	4	5	6	7
時間	8:45 ～ 10:15	10:30 ～ 12:00	13:00 ～ 14:30	14:45 ～ 16:15	16:30 ～ 18:00	18:10 ～ 19:40	19:45 ～ 21:15

(3) 授業実施場所

①対面授業の科目は新潟大学五十嵐キャンパス(新潟市西区五十嵐2の町8050番地)で実施。講義室はシラバス検索、または教務課教育実施係へお問い合わせください。

②リアルタイム型オンライン授業は通信環境の良い場所で受講ください。

※市民開放受講生は新潟大学の無線LANシステムを利用することができません。

学内で受講する場合は、モバイル Wi-Fi、テザリング等をご用意ください。

3 開放する授業科目及び募集定員等

(1) 授業科目

開放する授業科目は8～14 ページに掲載しています。

都合により授業の受講形態、曜日・時限を変更したり、開講を取りやめる場合があります。

履修の際は、最新情報を掲載したWeb シラバスをご確認ください。

新潟大学シラバス検索 <https://www.niigata-u.ac.jp/academics/syllabus/>

(2) 募集定員

1 科目につき若干名とします。

なお、本学学生と一緒に受講していただくこと及び聴講定員の都合から、次の場合は受講できないことがありますので、あらかじめご了承ください。

- ・ 本学学生のみで講義室の収容可能人数、Zoom の聴講可能人数を超えた場合
- ・ 市民開放授業の受講希望が著しく多くなった場合
- ・ その他、授業実施上、調整が必要とされた場合

(3) 受講料

受講料については、8～14 ページの「市民開放授業実施科目一覧 受講料/円」をご確認ください。

ただし、学校教育法第1条に規定する学校、同法第124条に規定する専修学校及び同法第134条に規定する各種学校に在学中の方は無料とします。申込み時に在学を証明する書類（学生証、在学証明など）の写しを添付してください。

(4) テキスト代、通信料等その他の費用

受講生が授業で使用するテキストの代金、通信料及び授業に係るその他の費用は、受講生の負担となります。十分な通信環境がない場合、高額な通信料がかかる可能性がありますので、受講にはWi-Fiなどの十分な通信環境が必要です。

4 受講手続きの流れ

第3ターム実施科目 第3・第4ターム連続実施科目 を受講する場合	第4ターム実施科目 を受講する場合	内容
受講の申し込み <u>令和8年9月14日（月）～9月25日（金）</u> ↓ 受講許可通知等 <u>令和8年9月30日（水）までに新潟大学より交付される</u> ↓ 試聴講期間 <u>令和8年10月2日（金）</u> <u>～10月8日（木）</u> ↓ ↓ 試聴講期間 <u>令和8年12月3日（木）</u> <u>～12月9日（水）</u> ↓ 受講をキャンセルされる場合は新潟大学へ連絡する ↓ 受講料の納付 <u>令和8年10月2日（金）</u> <u>～10月15日（木）</u> ↓ 受講料の納付 <u>令和8年12月3日（木）</u> <u>～12月16日（水）</u>		○「受講申込書」に必要事項を記入の上、学務部教務課に提出する。 ○新潟大学より郵送またはメールにて、受講に必要な情報をお送りします。 ○受講許可通知を受け取りましたら、授業に出席し、概要等を確認する。 ○必ず受講申込先へご連絡ください。 ○受講料を最寄りの金融機関から期限までに納付する。

(1) 募集要項等の確認

「受講申込書」を新潟大学ホームページよりダウンロード、または教育実施係へご請求ください。

新潟大学ホームページ 研究・社会連携 > オープンアカデミー > 市民開放授業
<https://www.niigata-u.ac.jp/contribution/learning/open-course/>

(2) 受講の申込み

9月25日(金)までに「新潟大学市民開放授業受講申込書」に必要事項を記入のうえ、下記のいずれかの方法でお申し込みください。電話による受付は行いません。

- 郵 送 〒950-2181 新潟市西区五十嵐2の町8050番地
新潟大学 学務部教務課 教育実施係 市民開放授業担当宛
※期日までに必着となるよう送付してください。
- 持 参 総合教育研究棟A棟1階3番窓口(平日10:00~15:00)
- E-mail s-kaihou@ge.niigata-u.ac.jp

※メールの受信設定について、ドメイン指定受信をされている場合は上記アドレスおよびパソコンからのメールを受信できるように設定してください。

(3) 受講許可通知等の交付

受講に必要な情報を郵送またはメールします。受講2日前までに届かない場合はご連絡ください。
また、受講できない場合にはその旨通知いたします。(☎025-262-6307)

(4) 試聴講期間

- 第3ターム実施科目 令和8年10月2日(金) ~ 令和8年10月8日(木)まで
- 第4ターム実施科目 令和8年12月3日(木) ~ 令和8年12月9日(水)まで
- 第3・第4ターム連続実施科目 令和8年10月2日(金) ~ 令和8年10月8日(木)まで

この期間中に授業の概要等をご確認いただき、**受講をキャンセルされる場合は必ずご連絡ください。**

(5) 受講料の納付

金融機関窓口又はATMにて、受講する授業科目分の受講料を、納付期限までにお振込ください。
期限までに受講料の振込がない場合は、受講できません。

振込期間

- 第3ターム実施科目 令和8年10月2日(金) ~ 令和8年10月15日(木)まで
- 第4ターム実施科目 令和8年12月3日(木) ~ 令和8年12月16日(水)まで
- 第3・第4ターム連続実施科目 令和8年10月2日(金) ~ 令和8年10月15日(木)まで

振込先 金融機関名： 第四北越銀行 内野支店
預金種別： 普通
口座番号： 1658281
口座名義者： 国立大学法人新潟大学

※振込手数料は申込者の負担となります。

5 受講に際して

(1) 欠席について

都合により授業を欠席する場合でも、本学及び授業担当教員へ連絡する必要はありません。

(2) 休講、補講、講義室変更、受講形態変更について

やむを得ない事情により、講義室や受講形態を変更する、授業を休講する、あるいは補講を行う場合は学務情報システムにてお知らせします。

自宅を出る前に天候不良等で授業が開講されるかどうか心配な場合は、教務課教育実施係【☎025-262-6307】へお問い合わせください。

(3) 講義資料

授業によっては、授業で使用する資料の配布を、学務情報システムにより行う場合があります。印刷を希望される場合は、教務課教育実施係（五十嵐キャンパス総合教育研究棟 A 棟 1 階 3 番窓口）にお申し出ください。その際、印刷にお時間をいただく場合がありますので、お早めにお越しください。

(4) 受講生の呼び出し等

受講生の呼び出しは行っておりませんので、あらかじめご承知おきください。また、授業中は携帯電話の電源をお切りください。

(5) 受講の停止

受講生が受講生としてふさわしくない行為等を行った場合、受講を停止することがあります。なお、受講停止となっても納入済の受講料は返還できません。

(6) 損害賠償

本学の施設、設備等を破損等したときは、速やかに届け出てください。また、その損害を弁償していただくことがあります。

(7) 通学方法等

本学では、構内における教育・研究環境の維持や交通事故等の防止対策として、自動車等の入構規制を行っております。可能な限り公共の交通機関をご利用ください。

事情により自動車等を利用して通学しなければならない方は、教務課教育実施係（五十嵐キャンパス総合教育研究棟 A 棟 1 階 3 番窓口）にお申し出ください。

(8) 学内施設の利用等

附属図書館（中央図書館）及び福利厚生施設（新潟大学生協食堂部、書籍部、購買部等）をご利用いただけます。利用の詳細は、各施設に直接ご確認ください。

(9) 市民開放授業は、単位の授与は行われません。

6 市民開放授業実施科目

【実施する科目】

科目区分（細区分）	ページ	科目区分（細区分）	ページ
健康・スポーツ（体育講義）	8	人文社会・教育科学（人文科学）	9～10
新潟大学個性化科目（自由主題）	8	人文社会・教育科学（教育人間科学）	10
自然系共通専門基礎（数学・統計学）	8	人文社会・教育科学（法学）	10～14
自然科学（理学）	8～9	医歯学（歯学）	14
自然科学（工学）	9		

「分野」「水準」について

各科目には、その科目の「分野」と「水準」がそれぞれ2桁の数字（コード）で示されています。「水準」は、10の位で聴講できる対象者を、1の位で授業の水準を示しています。

【分野コード表】

10	情報	51	電気電子工学
13	芸術	52	土木工学
14	健康スポーツ	53	建築学
15	生活科学	54	材料工学
16	科学技術社会論	55	プロセス工学
17	博物館学	56	人間医工学
28	哲学	57	生物学
29	文学	60	農学
30	言語学	61	農芸化学
31	史学	62	林学
32	人文地理学	64	農業経済
33	文化人類学・民俗学	65	農業工学
34	法律学	66	畜産学
35	政治学	70	英語
36	経済学	71	外国語
37	経営学	74	キャリア意識形成
38	社会学	75	新潟大学個性化科目
39	心理学	76	大学学習法
40	教育学	77	課題研究
41	数学	80	基礎医学
43	物理学	81	臨床医学
44	地学	82	社会医学
46	化学	85	看護
47	応用化学	86	福祉
49	工学基礎	87	境界医学
50	機械工学	90	基礎歯学
		91	臨床歯学
		92	社会歯学
		99	その他

【水準コード表】

10の位の数字	1の位の数字
0 全学の学生を受け入れることが可能な科目	1 大学学習法など、大学での学習を円滑にするためのもの
1 当該学部（学科）の学生に限られる科目	2 高等学校との接続を意識した水準（リメディアル）
2 教員免許など資格に関わる科目	3 通常の大学の基礎的水準
	4 専門の中核的水準
	5 発展的内容の科目で大学院との接続水準

令和8年度 第2学期 市民開放授業実施科目一覧

都合により授業の受講形態、曜日・時限を変更したり、開講を取りやめる場合があります。
履修の際は、最新情報を掲載したWebシラバスをご確認ください。<https://www.niigata-u.ac.jp/academics/syllabus/>

健康・スポーツ（体育講義）

No	開講番号	分野	水準	科目名	チーム	曜日	時限	教員	全体の定員	受講形態	科目の概要	受講料/円
1	264G2522	14	03	健康スポーツ科学講義b	4	水	4	森 恭	150	対面	自分自身の目標達成を「勝利」と考え、「勝利」のために必要な行動を自らが進んで、自主的・自発的に進めるために重要なポイントについて、スポーツ心理学、スポーツメンタルトレーニングの知見から概説する	7,000

新潟大学個性化科目（自由主題）

No	開講番号	分野	水準	科目名	チーム	曜日	時限	教員	全体の定員	受講形態	科目の概要	受講料/円
1	263G3733	75	03	教員志望者のための日本語教育入門 C	3	火	2	佐々木 香織	50	対面	主に、教員志望者のための日本語教育入門ですが、外国語が母語のマイノリティー児童生徒が日本で生活していく場合、どのような困難があり、マジョリティーはそれをどのようにサポートできるのか、相互に学びあうためにどのような社会的スキルが必要かを考える。 なお本科目は、新潟市日本語指導協力者および、新潟県国際交流協会外国人相談センター教育担当、ボランティア団体「りてらこや新潟」代表、国際交流基金シドニー日本文化センター日本語教育専門家の経験を有する教員が、その経験を活かして、日本の学校における海外にルーツのある児童生徒の日本語教育等について授業を行います。	7,000
2	264G3734	75	03	教員志望者のための日本語教育入門 D	4	火	2	佐々木 香織	50	対面	主に、教員志望者が将来学校で、日本語が母語でない児童生徒に日本語指導や教科指導を行う上で必要な視座及び、社会的なスキルを学びます。学校の教員としてだけでなく、一人の市民として、文化的背景の異なる人とのかわり方を考える場です。 なお本科目は、新潟市日本語指導協力者、新潟県国際交流協会外国人相談センター教育担当、ボランティア団体「りてらこや新潟」代表、国際交流基金シドニー日本文化センター日本語教育専門家の経験を有する教員が、その経験を活かして、日本の学校における外国にルーツを持つ児童生徒の日本語教育のあり方等について授業を行います。	7,000

自然系共通専門基礎（数学・統計学）

No	開講番号	分野	水準	科目名	チーム	曜日	時限	教員	全体の定員	受講形態	科目の概要	受講料/円
1	263G5508	41	03	統計学基礎1	3	月	5	坂井 一貴	150	対面	情報化が進展し膨大なデータが容易に取得でき、かつ不確実性の高い世の中である現代において、必要なデータを収集し、それを読み解く統計的なものの見方や考え方は自然科学分野に限らず、人文科学、社会科学などの全分野で重要になってきています。 また、これらの社会的な変化に伴い、内閣府の「AI戦略2019」において「数理・データサイエンス・AI」はデジタル社会の基礎知識として位置づけられ、すべての大学生に対してリテラシー教育が必要とされました。 本講義では、統計学の中で基礎的な部分を占める『記述統計学』について学びます。	7,000
2	264G5510	41	03	統計学基礎2	4	月	5	坂井 一貴	150	対面	情報化が進展し膨大なデータが容易に取得でき、かつ不確実性の高い世の中である現代において、必要なデータを収集し、それを読み解く統計的なものの見方や考え方は自然科学分野に限らず、人文科学、社会科学などの全分野で重要になってきています。 また、これらの社会的な変化に伴い、内閣府の「AI戦略2019」において「数理・データサイエンス・AI」はデジタル社会の基礎知識として位置づけられ、すべての大学生に対してリテラシー教育が必要とされました。 本講義は「統計学基礎1」の後継科目として、統計学の中で応用部分に該当する『推測統計学』について学びます。	7,000

自然科学（理学）

No	開講番号	分野	水準	科目名	チーム	曜日	時限	教員	全体の定員	受講形態	科目の概要	受講料/円
1	263G6506	41	03	基礎数理B	3	火・金	4	高橋 剛	100	対面	理工学の諸学問・技術を学ぶための素養として、線形代数学、特に行列の計算は必要不可欠である。この科目では、行列や行列式の計算法を中心に線形代数学の基礎を講義する。	15,000

令和8年度 第2学期 市民開放授業実施科目一覧

都合により授業の受講形態、曜日・時限を変更したり、開講を取りやめる場合があります。
履修の際は、最新情報を掲載したWebシラバスをご確認ください。<https://www.niigata-u.ac.jp/academics/syllabus/>

自然科学（理学）

No	開講番号	分野	水準	科目名	チーム	曜日	時限	教員	全体の定員	受講形態	科目の概要	受講料/円
2	263G6508	41	03	基礎数理B	3	月・木	4	酒匂 宏樹	150	対面	自然界には「重ね合わせの原理」が成り立つような現象が多い。このような現象を扱うための数学が線形代数学である。大学では様々な種類の数学を学ぶことができるが、ほとんどすべてが線形代数学と関係する。本講義は大学の数学を学ぶための基礎となるだろう。	15,000
3	264G6501	41	03	基礎数理AII	4	火・金	4	高橋 剛	100	対面	理工学の諸学問・技術を学ぶための素養として、微分積分学は必要不可欠である。この科目では、基礎数理A Iの続きとして、多変数(主に2変数)関数の微分積分を中心に概説する。	15,000
4	264G6503	41	03	基礎数理AII	4	月・木	4	酒匂 宏樹	150	対面	微分積分学をさらに推し進めて多変数関数を扱う。多変数関数はさまざまな量が関連する現象の解析に必要で、科学でも工学でも必須の題材である。一変数関数の微分係数は全微分の式、さらにはヤコビ行列に一般化される。一変数関数の定積分は重積分に一般化される。	15,000
5	264G6511	57	03	生物学－生物多様性A－	4	月・木	3	藤村 衡至	200	対面 非対面併用	講義を通じて「生物の多様性を考える基礎」「植物の多様性と進化」「動物の多様性と進化」「ゲノムや遺伝子からみた進化」「多様な生き物の関係」を学び、生物の多様性を理解する上で必要な知識を修得する。	15,000
6	264G6513	44	03	地学概論A	4	火・金	4	渡部 直喜	150	対面	地球は海洋を有し、多種多様な生物が生存する水と生命の惑星である。地球の歴史は、約46億年前の太陽系の形成に始まる。初期の地球における海洋（水圏）の形成、大陸（岩石圏）の出現、生命（生物圏）の誕生は、大気（気圏）環境に劇的な変化をもたらした。また、プレートテクトニクス等の地球内部に起因するダイナミクスも地球表層の大気・海洋・大陸・生物の進化に大きな影響を及ぼした。気圏、水圏、岩石圏、生物圏が相互に影響し合うことで、地球の環境は形づくられている。この講義では、現在までの46億年間にわたる地球環境の変遷を、地球の表面及び内部で起こったイベントと結びつけながら学習する。	15,000

自然科学（工学）

No	開講番号	分野	水準	科目名	チーム	曜日	時限	教員	全体の定員	受講形態	科目の概要	受講料/円
1	263G6524	50	03	くらしを支える機械システム工学	3	火・金	2	平元 和彦	200	対面	洗濯機やエアコンなどの身近な機器から自動車や飛行機などの乗り物などに至るまで、これらは機械システム工学の知識や技術をもとに作られ、人々の生活を支えている。機械システム工学の内容も基本的な力学から、材料の科学、加工や制御など多くの分野に分類される。この科目では、日常使われている機械や生活に関連する様々な現象に、機械システム工学の基礎的な概念やその技術がどのように関わっているかを紹介する。	15,000
2	263T4005	41	03	応用数理C	3	火・金	3	酒匂 宏樹	150	対面	複素関数の微分積分学が主なテーマである。複素関数の微分係数と線積分がもつ意味について学ぶ。科学とどのように関連するのかについても触れる。「複素数を使うと角度が扱える」これは15回の講義を貫くテーマである。	15,000

人文社会・教育科学（人文科学）

No	開講番号	分野	水準	科目名	チーム	曜日	時限	教員	全体の定員	受講形態	科目の概要	受講料/円
1	260G7507	39	03	心と脳の科学リテラシー	3・4	木	2	新美 亮輔	100	対面	現実社会の中で心理学や神経科学（いわゆる脳科学）の成果が扱われるときにどのような問題が起きるのか、現在および過去の実例を挙げて紹介する。心や脳に関する科学的知見を専門家ではない市民が適切に活用するために必要な教養としての科学リテラシーを育む。 ★注意★ この授業は心理学や脳科学の入門講義ではありません。心理学や認知神経科学の知識がある学生を対象に、心理学の内容そのものではなく、心理学と社会との関わりについて議論するものです。	15,000
2	260G7515	29	03	演劇入門	3・4	火	1	齋藤 陽一	150	対面	総合芸術としての「演劇」について、日本の演劇を中心に具体的な作品に触れながら、それぞれの立場から主張された演劇観について講義する。さらに全体を通して演劇とはどういうものかということについて明らかにしたい。	15,000

令和8年度 第2学期 市民開放授業実施科目一覧

都合により授業の受講形態、曜日・時限を変更したり、開講を取りやめる場合があります。
履修の際は、最新情報を掲載したWebシラバスをご確認ください。<https://www.niigata-u.ac.jp/academics/syllabus/>

人文社会・教育科学（人文科学）

No	開講番号	分野	水準	科目名	ターム	曜日	時限	教員	全体の定員	受講形態	科目の概要	受講料/円
3	260G7521	30	03	日本語教育Ⅰ－B	3・4	月	3	池田 英喜	50	非対面	日本語を母語としない人たちに外国語として日本語を教えるための基礎を学ぶ。 英語その他の外国語を見るとときと同じような視点から日本語を観察する。 観察対象は、日本語の語、文、文章と幅広く対応する。	15,000
4	260G7522	29	03	文学D	3・4	水	2	番場 俊	150	対面	「文学」を「研究する」ことは、はたして可能なのか？ 近代に誕生した「小説」というジャンルに注目し、古典的な作品を読みながら考えます（とりあげる作品はデフォー『ロビンソン・クルーソー』とドストエフスキー『罪と罰』）。	15,000
5	263G7513	10	03	メディアの記号論	3	月・木	4	田中 敦	150	対面	グローバル化と多文化共生が進む現代社会において、多様な経路と手法とで行われる情報伝達に注目し、各種「記号」を通じて送受信される情報メッセージを読み解く視点を学ぶ。	15,000
6	263G7524	31	03	歴史学H	3	月・木	2	吉田 章人	150	対面	中国という国がいかなる歴史を経て形成されていくか、中国古代の政治・社会・文化を取り上げながら考えていきます。また、古代中国の歴史に触れながら、中国という国が持つ多面性についても考えます。具体的には、新石器時代から三国志の時代頃までの時期を対象として、古代中国における王朝の興亡や政治・社会の変化を中心に焦点を当てていきます。	15,000
7	264G7514	10	03	意思決定のコミュニケーション論	4	月・木	4	田中 敦	150	対面	私たちは日々、無数の情報に接し、それを処理することで判断や意思決定を行っている。本講義では、人が情報をどのように解釈して処理するかについて、受信者の側から検証することにより、様々な情報を判断する際の視点と留意点について学習する。	15,000

人文社会・教育科学（教育人間科学）

No	開講番号	分野	水準	科目名	ターム	曜日	時限	教員	全体の定員	受講形態	科目の概要	受講料/円
1	260G7530	39	24	関係行政論	3・4	水	4	中川 拓也	50	対面	自殺やいじめ、虐待などの心理学的支援を行うには、多職種や他機関、行政などとの幅広い連携が重要である。この科目では、それぞれの関係機関と連携する上で必要となる法律や制度、地域等で支援をする上で基盤となる考え方について学習し、支援を行う上での倫理について理解を深める。 なお、本科目は、福祉行政の経験を有する教員がそれを活かして関係法制度について授業を行う。	15,000
2	260K5650	32	04	地理学特講Ⅰ	3・4	水	2	北村 繁	40	対面一部非対面	土壌生成の基礎を学習するとともに、世界のさまざまな環境下で、その環境に応じて生じる土壌について紹介・解説します。また、土壌圏と生物圏をめぐる物質循環から、気候帯ごとの自然環境を捉え直します。	15,000

人文社会・教育科学（法学）

No	開講番号	分野	水準	科目名	ターム	曜日	時限	教員	全体の定員	受講形態	科目の概要	受講料/円
1	263L3005	34	03	行政法Ⅰ	3	火	1・2	今本 啓介	250	対面(予定)	本講義では、行政法の標準的体系における「行政法総論」の分野を扱う。 行政における基本的な法原理を習得し、行政法関連科目をこれから学ぶ上での基礎的素養を身につけることを狙いとしている。	15,000
2	264L3006	34	04	行政法Ⅱ	4	木	1・2	吉川 聡美	200	対面(予定)	(詳細未定)	15,000
3	263L3101	34	03	民法Ⅰ	3	水	3・4	上山 泰	300	対面(予定)	民法における「総則」とは民法典第2編以下の各領域に共通する規律を抽出してまとめたものを意味し、第1編「民法総則」に配置された規律群が該当する。本講義では、民法総則に関する法的規律や諸制度がどのような趣旨の下でいかなる内容で定められているかについて、概説及び検討を行う。なお、これらの規律は他の各領域に比べ抽象度が高く、把握が困難な側面があるため、講義では、身近な売買契約を主な素材として総則規定の具体的内容を説明する予定である。	15,000

令和8年度 第2学期 市民開放授業実施科目一覧

都合により授業の受講形態、曜日・時限を変更したり、開講を取りやめる場合があります。
履修の際は、最新情報を掲載したWebシラバスをご確認ください。<https://www.niigata-u.ac.jp/academics/syllabus/>

人文社会・教育科学（法学）

No	開講番号	分野	水準	科目名	ターム	曜日	時限	教員	全体の定員	受講形態	科目の概要	受講料/円
4	263L3103	34	03	民法Ⅲ	3	木	1・2	岩 寄 勝成	300	対面 (予定)	所有権をその典型とする物権は、財貨帰属のための法的基礎を支えるものであり、今日の資本主義体制にとって重要な権利として観念されている。本講義では、所有権を主に念頭に置きつつ、その発生・変更・消滅というプロセス（いわゆる物権変動）の内容と理論構成を中心に概説及び検討を行う。具体的には、所有権移転と第三者への対抗問題を柱としつつ、その前提としての所有権・占有権の概念、また、用益物権の概要を説明する。なお、物権の一内容を構成する担保物権については、他の講義で取り扱われることが予定されているため、本講義の対象ではない。	15,000
5	264L3106	34	03	民法Ⅵ	4	金	3・4	上 山 泰	300	対面 (予定)	本講義は、民法典第三編債権編の第2章「契約」（521条～696条）の内容を対象とする。契約の成立、契約の効力、契約上の地位の移転、契約の解除、定型約款といった契約一般に関わる契約総則上の諸制度と、売買、賃貸借、請負等の13種の典型契約について、それぞれの具体的な制度趣旨と重要裁判例を解説する。授業に際しては、できる限り具体的な事例を設定して解説を進めることで、民法の条文が定める抽象的なルールを具体的な事件に当てはめて解釈できるようになることを目指す。	15,000
6	264L3107	34	03	民法Ⅶ	4	月	1・2	田 中 幸弘	250	対面 (予定)	民法の領域の中で、主として担保物権法の領域の問題を中心に、金融取引において実務上必要とされる法律知識を身につける法的問題を分析できるよう授業を進めていきます。 今年は改正民法の内容を踏まえて講義します。 なお、本授業は教員の上場企業の法務部での十数年の実務経験に基づき、実社会での企業法務金融法務の実務を踏まえて民法についての授業を行うものです。	15,000
7	263L3109	34	03	民法Ⅸ	3	金	3・4	喜友名 菜織	300	対面 (予定)	本講義は、民法第5編「相続」について取り扱う。被相続人に帰属していた財産上の権利義務がいかなる法的規律に基づいて特定の者に承継されるのかを、相続制度と遺言制度の両面から概説する。 相続法に関する基本概念や重要判例を確認し、法解釈上の主要な論点や社会の変容に伴う理論的課題を検討することを通じて、相続法の体系的な理解を深めることを目的とする。	15,000
8	263L3112	34	04	民事訴訟法Ⅱ	3	金	1・2	篠原 淳一	150	対面 (予定)	「民事訴訟法Ⅱ（各論）」として開講する本科目は、入門編である「民事訴訟法Ⅰ」に続く発展編に相当し、「民事訴訟法Ⅰ」で取り上げなかった重要論点の解説を中心とする。 本科目は、裁判実務に従事していた経験（元裁判官）を有する教員による授業である。 重要論点の解説を中心とする本科目では、当該論点の考察を通じて、「民事訴訟法Ⅰ」で学んだ民事訴訟手続の仕組み、原理・原則、判例・学説といった基礎知識の展開・応用の仕方を学び、民事訴訟法のより深い理解を得ることをねらいとする。	15,000
9	264L3114	34	04	会社法Ⅰ	4	月	3・4	酒 巻 雄司	150	対面 (予定)	本講義では、企業法において中心的な法令である「会社法」を取り上げる。本科目ではその中でも、会社法総論と、株式会社の機関構成の部分について講義を行う。 現在の経済社会、そして経済活動の中心的存在である「株式会社」を「会社法」に基づき理解することができるようになることを目標とする。特に本科目では、会社法上取り得ることのできる機関構成および、各々の機関の役割から、現状の問題点までを踏まえて議論できるようにすることを期待している。	15,000
10	263L3202	34	04	刑法Ⅱ	3	月	1・2	根 津 洸希	300	対面 (予定)	この授業は、犯罪と刑罰に関する一般原則およびあらゆる犯罪に共通の成立要件を明らかにすることを目的とした刑法総論の分野を扱う「刑法Ⅰ（刑法総論Ⅰ）」の続編であると同時に、その内容を応用・発展させた問題領域を対象とする。 この授業は、刑法総論の分野のうち、過失犯論、不作為犯論、未遂（・不能）犯論、共犯論を主要な対象として、①過失犯の意義とその成立要件、②不作為犯の意義とその成立要件、③未遂犯・不能犯・中止犯の意義とその成立要件、④正犯と共犯に関連する問題点とその解決方法について理解させることを主要なねらいとしている。	15,000

令和8年度 第2学期 市民開放授業実施科目一覧

都合により授業の受講形態、曜日・時限を変更したり、開講を取りやめる場合があります。
履修の際は、最新情報を掲載したWebシラバスをご確認ください。<https://www.niigata-u.ac.jp/academics/syllabus/>

人文社会・教育科学（法学）

No	開講番号	分野	水準	科目名	ターム	曜日	時限	教員	全体の定員	受講形態	科目の概要	受講料/円
11	264L3206	34	05	刑事訴訟法Ⅱ	4	水	3・4	稲田 隆司	40	対面 (予定)	主として、公訴提起そして公判手続を経て第一審が終了するまでの流れを概観しつつ、これら一連の手続内に存在する諸論点・諸問題について検討する。また、証拠法について検討する。 第一に、刑事手続の基本的な流れを確認しつつ、公訴提起および公判手続各段階における個別の処分の目的について把握すること。第二に、これら各手続・各処分の背景にどのような理念があるかを理解すること。	15,000
12	264L3403	34	04	情報法Ⅱ	4	月	1・2	鈴木 正朝	150	対面 (予定)	「個人情報の保護に関する法律」（令和3年改正法・令和5年施行）を逐条的に解説します。授業時間外の学習時間について各回4時間程度を目安とし、課題は授業計画詳細情報に示していますが、具体的には各回の講義で指定します。 なお、本科目は、情報法関連の実務経験を有する教員が、それを活かして企業対応の実際、立法化に向けた対応の実際にもふれながら授業を行います。	15,000
13	263L3405	34	04	情報セキュリティと法Ⅱ	3	水	3・4	須川 賢洋	150	対面 (予定)	IT社会、ネットワーク社会に必要な法律や経済を中心とした社会科学的知識全般の授業。時事問題やコンピュータ・インターネット・IT機器の利用に際して生じる法律問題に重点をおく予定。 社会科学履修者の立場から技術者に納得してもらえるような説明能力・判断能力等を身につけること。就職後にIT関連の発注や契約が必要になった際に、とんちんかんな仕様書や契約書を書かないようにすること。	15,000
14	263L3303	34	04	社会保障法Ⅰ (医療保障法)	3	木	1・2	田中 伸至	150	対面 (予定)	本講義では、わが国医療制度の最大の特徴が国民皆保険の採用にあることを踏まえ、日常的に利用されているいわゆる保険診療を念頭に置いて医療保障の仕組みを考察します。すなわち、社会保障法学と医事法学との横断する形で①、②、③、④、⑦を取り扱います。 なお、②については医療法のみならず公的医療保険制度も大きな役割を果たしていますが、医事法学ではこれを視野に入れた検討はあまり行われていません。社会保障法学における研究の歴史も古くはありません。そこで、本講義では、公的医療保険、特に診療報酬制度を踏まえた上で②の解説を試みます。	15,000
15	264L3304	34	04	社会保障法Ⅱ (総論・所得保障法)	4	木	1・2	田中 伸至	150	対面 (予定)	所得保障法、医療保障法、社会福祉法制などから構成される社会保障法のうち、所得保障法と社会保障法の総論を扱います。 所得保障に関する制度には、年金、就労支援と労働保険、生活保護が含まれます。 社会保障法の総論としては、社会保障法と憲法、社会保障の方式の2つの分野を取り上げます。各項目においては、法制度の内容と制度趣旨、歴史的展開や政策課題を中心に取り扱い、関連する重要な裁判例も検討します。	15,000
16	264L3701	35	04	公共政策	4	木	3・4	田中 伸至	150	対面 (予定)	公共政策に関する研究は、 ① 公共政策の分析や策定の指針となる公共哲学、経済学等の規範理論、 ② 公共政策に関するプロセスの各段階を対象とする政策手段論、政策決定論及び政策実施・ガバナンス研究、 ③ 財政金融政策、産業・雇用政策、社会保障政策、国土交通政策、環境政策等の個別領域研究、 ④ 社会経済体制研究や福祉国家論 などの幅広い分野から構成されます。 本講義では、 上掲①のうち、市場の機能と政府の役割に関する規範理論を、 ③の中から、重要政策領域である雇用システム、高齢年金改革、保健医療政策、社会保障財源と経済成長を、 ④の福祉国家研究を 取り上げ、概説します。	15,000
17	263L3305	34	04	社会福祉法制	3	木	3・4	田中 伸至	150	対面 (予定)	社会福祉法制では、介護保険、障害者施策、児童福祉と子育て支援、権利擁護などを扱います。これらの分野は、伝統的に、社会福祉と呼ばれてきた分野です。かつては、障害者福祉、老人福祉、児童福祉が社会福祉の主要な3つの分野でした。しかし、2000年に、介護保険法が施行され、老人福祉分野の中心は社会保険化されました。また、児童福祉分野は、近年、保育などの子育て支援の重要性が高まっています。このため、それぞれの分野の独自性が大きくなってきています。	15,000

令和8年度 第2学期 市民開放授業実施科目一覧

都合により授業の受講形態、曜日・時限を変更したり、開講を取りやめる場合があります。
履修の際は、最新情報を掲載したWebシラバスをご確認ください。<https://www.niigata-u.ac.jp/academics/syllabus/>

人文社会・教育科学（法学）

No	開講番号	分野	水準	科目名	ターム	曜日	時限	教員	全体の定員	受講形態	科目の概要	受講料/円
18	264L3307	34	04	労働法Ⅱ	4	金	1・2	木南 直之	150	対面 (予定)	現代社会において生活する際には「労働」とのかかわりは不可避なものとなっている。 こうした労働関係・労使関係のルールを定めた「労働法」のうち、本講義では、労働組合が関係する領域について取り扱う。 従って、労働組合法等が講義の主たる対象となる。	15,000
19	263L3308	34	03	国際法	3	木	1・2	渡辺 豊	150	対面 (予定)	国際社会を規律する法である国際法について、その存在形態と具体的な規律内容について概観する。国際社会における法の役割と現状、及び他分野との関係を理解し、具体的問題について国際法の知識を駆使して考えられるようになることを目指す。 なお、講義は教科書の内容についての予習用動画を視聴していることを前提に反転学修を行う。事前に教科書を読み込み、予習用動画を視聴していることを前提に講義を進める。	15,000
20	263L3703	35	04	行政学Ⅱ	3	水	1・2	馬場 健	250	対面 (予定)	行政学は、制度、管理、政策の各視点から形成される。本科目では、西尾勝『行政学』を教科書として利用しながら、これら各々視点から行政活動を分析する基本的な概念、用語について概説する。 同学期月曜日開講の行政学Ⅰ（総論）と本講義の両者をもって、同書の全体の概要を概説する。	15,000
21	264L3704	35	04	自治体政策論	4	水	1・2	馬場 健	150	対面 (予定)	地方公共団体（以下、自治体）が、おのおのの対象とする地域（行政区域）の抱える様々な公共課題を解決するため、その地域ごとの社会・経済・地理的特徴（地域特性）を勘案しつつ、政策を策定、実施し、さらにその評価に基づいて政策を発展させ、また修正、中止することを自治体政策と呼ぶことが多い。 この政策は、法的枠組みという視点に立てば、自治事務と法定受託事務とに区分され、さらに、このおのおのに対して、各自治体は、条例、規則、要綱のいずれかもしくはすべてを制定している場合とそうでない場合とに区分される。そこで、本講義では、自治体政策の策定、決定、実施、評価に直接関わる自治体の構造について概説する。	15,000
22	264L3803	34	03	ジェンダー論	4	木	1・2	田巻 帝子	250	対面 (予定)	本講義は、男女共同参画はもとより、ダイバーシティ（多様性）の推進をめざす現代社会において、社会的・文化的性差を示す用語としての「ジェンダー」とは何かについて、まず基本的な知識を得ながら理解を深め、ジェンダーや広義の「性」に関するさまざまなトピックを扱いながら、特にジェンダーの視点から何がどのように「問題となるのか・ならないのか」について一人ひとりが考えることを目的とする科目である。	15,000
23	263L3506	34	03	特殊講義（生命倫理）	3	水	3・4	根津 洗希	100	対面 (予定)	本講義では、生命倫理の問題を現実的に感じることができるよう、医事法・先端技術・環境保護という三つの観点から、生命倫理における難問にアプローチしていく。 科学の発展により我々の生活は便利になったり、いままでは治せなかった病気を治せるようになったり、様々な利益がもたらされる。 他方、人間の情報処理能力をはるかに超越したAIは制御可能なのか、病者身体動作をたすけるパワードスーツ技術と人間のサイボーグ化との間には違いがあるのかという困難な問いも提起される。現代の科学発展により提起されるこれら難問の争点を整理し、考えていくことがこの授業の目的である。	15,000
24	264L3603	35	03	日本政治外交史Ⅱ	4	金	1・2	稲吉 晃	120	対面 (予定)	本講義は、各回ひとつの港町をとりあげ、その歴史から政治学上の重要なテーマについて考えるものである。 「政治史」には、「政治過程の歴史」と「歴史的アプローチによる政治学」という二つの意味がある。両者は決して相反するものではないし、多くの「政治史」にはこの二つの要素が入っている。本講義では、とくに後者に力点をおき、受講者が「政治」について考えるきっかけを与えることを目的とする。	15,000

令和8年度 第2学期 市民開放授業実施科目一覧

都合により授業の受講形態、曜日・時限を変更したり、開講を取りやめる場合があります。
履修の際は、最新情報を掲載したWebシラバスをご確認ください。<https://www.niigata-u.ac.jp/academics/syllabus/>

人文社会・教育科学（法学）

No	開講番号	分野	水準	科目名	チーム	曜日	時限	教員	全体の定員	受講形態	科目の概要	受講料/円
25	263L3604	35	03	アジア政治外交史	3	月・木	5	李 秉哲	150	対面 (予定)	日本にとって、東アジアに対する十分な理解が重要であることはいうまでもない。東アジアは、世界の中でも特に目覚ましい経済成長を遂げてきた地域であると同時に、1980年代以降、国家間戦争が発生していない比較的平和な地域でもある。しかし、わずか数十年前までの東アジアは、世界で最も戦争が頻発した貧しい地域の一つであった。さらに、近現代の東アジア諸国・地域は、近代化、帝国主義、植民地支配、国家間戦争、内戦、冷戦、経済発展、民主化、地域協力など、さまざまな歴史的経験を重ねてきた。 したがって、東アジアに対する理解を深めるためには、日本を含む東アジア諸国・地域が、こうした多様な局面にいかに対応してきたのか、また、その過程において相互にいかなる関係を構築してきたのかについて考察することが求められる。 以上を踏まえ、本講義では、東アジア政治外交史を主題とし、19世紀後半から21世紀初頭にかけての主要な出来事とその影響について概観する。特に、各国・地域間の相互関係に加え、内政と外交の相互作用にも注目して考察を行う。	15,000
26	263L3820	34	04	現代社会と法（先端技術と法）	3	月	3・4	須川 賢洋・他	150	対面 (予定)	テクノロジーの進化は我々の生活に影響を与えるため、当然にその都度、法律や政治もそれに呼応して変化せざるをえない。例えば、現在では人工知能(AI)や生殖医療、環境工学などの発展がそうであり、その前にはインターネットをはじめとする（特に国境を越える）通信手段の発達がある。さらに昔に遡れば、自家用車の普及によるモーターリゼーションも該当するであろう。つまりは、歴史も含めて、先端技術（自然科学）と政策科学との関係を受講生に理解してもらうことを目的とする。 授業は、法学部の様々な専門分野の教員に学外講師を加え、それぞれの立場から実践的な課題について深掘りしてもらう。最後のシンポジウム授業では、学外講師を除く各回担当講師がシンポジストとして登壇し、理論と実務の連携の視点から、現代的な社会問題の解決策を探る。	15,000
27	263L3201	34	03	特殊講義（性・セクシュアリティと人権）	3	金	1・2	春藤優	250	対面 (予定)	ジェンダー/セクシュアリティの観点から法的諸問題について検討を行うための基本的な知識を身に着けます。講義では、選択的夫婦別姓や同性婚、堕胎罪、性同一性障害特例法などに関する判例・学説を扱います。 ジェンダー法学とは何かに迫り、ジェンダー法学の方法論について理解すること。 女性や性的マイノリティについての法的問題を扱うことそのものではなく、既存の法的知識や法制度がいかなるジェンダー/セクシュアリティの政治の中で形成されているかを分析する視角/知として、ジェンダー法学を理解することが求められる。	15,000
28	260L3002	34	04	憲法Ⅱ	3	木	3・4	未定	300	対面 (予定)	（詳細未定）	15,000

医歯学（歯学）

No	開講番号	分野	水準	科目名	チーム	曜日	時限	教員	全体の定員	受講形態	科目の概要	受講料/円
1	260G8505	90	03	顔	3・4	火	4	丹原 惇	150	対面 非対面併用	この科目は、顔を中心とした講義である。顔は、人体の一部であるが、感覚器が集中する複雑な構造を持っており、生存するためには極めて重要な部分である。特に人における顔はコミュニケーションツールとしての機能を有し、その表情は心理状態を映し出すとも言われている。それ故、人は社会生活の中である時には顔を介して繋がりをもち、ある時には顔を通じて人の内面を探ろうとし、ある時には外観の変化を求めることもある。このような多様な側面を持つ顔は、これまでに様々な分野で研究が進められてきた。本科目は、社会文化学、工学、心理学、医学、歯学、美術学など様々な領域で顔に関する研究の第一線で活躍する講師を迎え、オムニバス形式で講義を行い、顔の魅力について幅広い知識を習得する。また、本講義で得られた知見をもとに、人生における顔の重要性について考え、今後の生活に活かすことを目標としている。	15,000
2	263G8506	75・86	03	新潟発福祉学	3	水	3・4	米澤 大輔	100	対面	社会福祉を理論と実践の両面からとらえ、児童家庭・女性、障害、高齢者など各領域における多彩な福祉の今を学ぶ。 新潟における現在の地域福祉の現状を第一線で活躍する講師の講義を通じて理解する。 担当する教員はいずれも実務経験を有する教員および非常勤講師であり、担当教員は行政における福祉分野の実務経験を有し、非常勤講師は福祉における現場での実践的な実務経験を有している。	15,000

(2026)
令和 8 年度新潟大学授業暦

 休業(講)日
 _____ 補講日等
 () 試験日
 授業振替日

第 1 学期

第 2 学期

	日	月	火	水	木	金	土		日	月	火	水	木	金	土		
4 月				1	2	3	4	第1ターム 4月8日～6月8日 4/3入学式、4/6～7ガイダンス 4/27 水曜日授業振替	10月					1	2	3	第3ターム 10月2日～12月1日 10/1 秋季入学式、ガイダンス 10/13 月曜日授業振替
	5	6	7	8	9	10	11			4	5	6	7	8	9	10	
	12	13	14	15	16	17	18			11	12	13	14	15	16	17	
	19	20	21	22	23	24	25			18	19	20	21	22	23	24	
	26	27	28	29	30					25	26	27	28	29	30	31	
5 月						1	2	5/7 月曜日授業振替 5/8 火曜日授業振替	11月	1	2	3	4	5	6	7	11/6 火曜日授業振替
	3	4	5	6	7	8	9			8	9	10	11	12	13	14	
	10	11	12	13	14	15	16			15	16	17	18	19	20	21	
	17	18	19	20	21	22	23			22	23	24	(25)	(26)	(27)	28	
	24	25	26	27	28	29	30			29	(30)						
31																	
6 月		1	(2)	(3)	(4)	(5)	6	6/1 開学記念日	12月			(1)	2	3	4	5	第4ターム 12月3日～2月12日 12/27～1/6 冬期休業
	7	(8)	9	10	11	12	13	6		7	8	9	10	11	12		
	14	15	16	17	18	19	20	13		14	15	16	17	18	19		
	21	22	23	24	25	26	27	20		21	22	23	24	25	26		
	28	29	30					27		28	29	30	31				
7 月				1	2	3	4	7/22 月曜日授業振替	1 月						1	2	1/14 月曜日授業振替 1/15、18大学入学共通 テスト準備・復元のため休講 1/22 月曜日授業振替
	5	6	7	8	9	10	11			3	4	5	6	7	8	9	
	12	13	14	15	16	17	18			10	11	12	13	14	15	16	
	19	20	21	22	23	24	25			17	18	19	20	21	22	23	
	26	27	28	29	(30)	(31)				24	25	26	27	28	29	30	
								31									
8 月							1	8/11～9/30 夏期休業	2 月		1	2	3	(4)	5	6	
	2	(3)	(4)	(5)	6	7	8			7	(8)	(9)	(10)	11	(12)	13	
	9	10	11	12	13	14	15			14	15	16	17	18	19	20	
	16	17	18	19	20	21	22			21	22	23	24	25	26	27	
	23	24	25	26	27	28	29			28							
30	31																
9 月			1	2	3	4	5	9/24 秋季卒業式	3 月		1	2	3	4	5	6	3/11～3/31 春期休業 3/23 卒業式
	6	7	8	9	10	11	12			7	8	9	10	11	12	13	
	13	14	15	16	17	18	19			14	15	16	17	18	19	20	
	20	21	22	23	24	25	26			21	22	23	24	25	26	27	
	27	28	29	30						28	29	30	31				

授業週数								授業週数							
第 1 ターム	8	8	8	8	8			第 3 ターム	8	8	8	8	8		
第 2 ターム	8	8	8	8	8			第 4 ターム	8	8	8	8	8		

昼間コース	
1限	8:45 ～ 10:15
2限	10:30 ～ 12:00
3限	13:00 ～ 14:30
4限	14:45 ～ 16:15
5限	16:30 ～ 18:00

夜間主コース	
6限	18:10 ～ 19:40
7限	19:45 ～ 21:15